

□平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (□新規 拡充 □縮小 □休止・廃止 □現状維持)

1 事務事業の基本情報 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。

事務事業名	都市計画総務費 (産業用地創出業務委託)	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない	予算科目	区分	一般会計	款	8	項	4	目	1	事業	2
担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係	作成者	高野 慎吾	内線(電話番号)	2710	シート作成日	H30.10.19	部長決裁日	H30.10.24			
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市都市計画マスタープラン)															
	根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)															

2 事務事業の目的 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	<p>圏央道や西幹線道路等の整備効果により、首都圏へのアクセスが飛躍的に向上し、産業需要の優位性が高まることが期待されるが、水海道都市計画区域に存する4つの工業団地は空きが無い状況である。これまで水海道都市計画区域では、既存工業団地とその周辺地域において、都市計画法における地区計画制度を活用することで産業系土地利用の促進を図っているが、主に既存立地企業の操業環境の向上及び維持・活性にとどまっている。一方、石下都市計画区域では、都市計画マスタープランにおいて鴻野山・岡田・古間木の3地区を産業エリアとして位置付けているが、明確な誘導方針は示されていない状況であり、当市における新たな産業用地の創出は重大かつ喫緊の課題である。</p>	<p>誰・何を対象に 大生郷工業団地周辺区域</p> <p>どのような方法・手順で 平成30年度事業となる基礎調査の成果より抽出した開発候補地について、基本計画案の作成を進める。同時に、企業誘致を円滑にするための公共施設等整備について、概算事業費を検討し内部の意志決定を図る。</p>	<p>望ましい状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2年程度で地区計画を決定することにより、産業用地としての位置づけが明確になる。 ●5年程度で必要な基盤整備を進めることにより、大生郷工業団地周辺への企業立地が促進される。 ●10年程度で大生郷工業団地を中心とする市街化区域の拡大を進める。
------	---	--	--

3 事務事業の主たる成果指標 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	地区計画の決定	単位	個所	目標値	1	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方 (又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・可及的速やかに産業用地を確保するため。 ・将来的な社会資本整備総合交付金の活用を見込み、先行して産業用地としての位置付けを明確にするため。
-----	---------	----	----	-----	---	------	----------	--------------------------------------	---

4 事務事業の実績 ① 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量			
事務事業を構成する主な業務	①		①		①				
	②		②		②				
	③		③		③				
	④		④		④				
	⑤		⑤		⑤				
	⑥		⑥		⑥				
	⑦ 平成30年度から実施のため実績なし		⑦ 平成30年度から実施のため実績なし		⑦ 平成30年度から実施のため実績なし				
	⑧		⑧		⑧				
	⑨		⑨		⑨				
	⑩		⑩		⑩				
	⑪		⑪		⑪				
	⑫		⑫		⑫				
目標値に対する実績値		個所	目標値に対する実績値		個所	目標値に対する実績値		個所	
決算額	計	円	内訳	特定財源	円	内訳	特定財源	円	
				一般財源	円		一般財源	円	
		(住民一人あたりの行政コスト)		円			(住民一人あたりの行政コスト)		円

5 担当者評価 ② 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	成果内容
問題点	

6 担当部長及び担当課長評価 ③ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性 拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

7 実施計画 ④ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業内容	【新産業団地創出基礎調査業務】 ●大生郷工業団地周辺区域の基礎情報の整理 ●新産業団地創出候補地区の設定 ●新産業団地創出候補地区の比較検討		【大生郷工業団地周辺基本計画策定業務】 ●権利者意向の把握 ●基本計画案の策定 ●基盤整備内容の検討 ●関係機関調整		【大生郷工業団地周辺地区計画決定業務】 ●平成31年度の業務を踏まえ、地区計画の決定手続きを行う。 ○地区計画案の策定 ○都市計画手続き ○関係機関調整 【地区施設実施設計業務】 ●先行的に整備する公共施設がある場合、当該施設についての実施設計を行う。 ○地区施設 ○雨水排水施設	
	歳出	計 1,000 千円	歳出	計 8,000 千円	歳出	計 6,000 千円
予算額		特定財源 0 千円		特定財源 千円		特定財源 千円
	歳入	一般財源 1,000 千円	歳入	一般財源 8,000 千円	歳入	一般財源 6,000 千円
		計 1,000 千円		計 8,000 千円		計 6,000 千円

8 財務アドバイザーの見解

9 行政改革懇談会(市民)の意見

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事務事業の方向性 拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

11 事務事業の改善理由 ⑥ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容 平成30年度は「新産業団地創出基礎調査業務委託」としていた事業。平成31年度からは、基礎調査の成果を踏まえ、大生郷工業団地北部地区と花鳥工業団地周辺地区について、基盤整備内容の検討・基本計画案の作成を進める。花鳥工業団地周辺地区については、将来的に大生郷工業団地と一体的な土地利用を図ることでの市街化区域編入を視野に入れ、地区計画決定を想定した基本計画案の作成を進める。